



発生動向等サーベイランス情報

レジオネラ症 ～夏から秋にかけて注意しましょう～

レジオネラ属菌が原因で起こる感染症です。

年齢別では50歳以上、性別では男性に多く見られます。

高齢者や免疫機能が低下している人は肺炎を起こす危険性が高いです。適切な治療がされない急速に症状が進行し、命にかかわることもあります。

【感染経路】

レジオネラ属菌に汚染された ①エアロゾル(冷却塔、加湿器や循環式浴槽から発生する細かい霧やしぶき)の吸引 ②水(温泉浴槽内や河川)の吸引・誤嚥 ③腐葉土の粉じんの吸引 によって感染します。 ※ヒトからヒトへ感染することはありません。

【感染対策】

- ・浴槽や加湿器はこまめに洗浄して清潔を保つ。
- ・エアロゾルの発生する高圧洗浄機や腐葉土を取り扱う際には、マスクを着用する。



▲レジオネラ症とは
(栃木県HP)

感染対策のポイント

シリーズ13:レジオネラが好む環境は？

レジオネラ属菌は20℃から50℃で繁殖するため、夏場が特に危険です。また、36℃前後がレジオネラ属菌の好む温度なので、ぬるま湯が放置されているような環境は要注意です。水温が高いとレジオネラ属菌の増殖を抑制する遊離残留塩素濃度が低下してしまうことが多く、レジオネラ属菌にとって住みごこちが良い環境となってしまう可能性があります。レジオネラ属菌が増殖しやすい物品などは、熱湯消毒や塩素消毒で時々処理することをお勧めします。

感染症専門家からのアドバイス



シャワーホースなどは、特にレジオネラ属菌に汚染されやすい場所です。施設等では、定期的な分解清掃・物品交換の実施が望まれます。またレジオネラ属菌は、水の流れが停滞する環境でも増殖しやすいため、頻回に通水することも大切です。しばらく時間があいた後のシャワーホースからは、たくさんのレジオネラ属菌が出てくる可能性があります。しばらくお湯を流して、ホース内の滞った水を出し切ってから使用することもレジオネラ感染を防止する日常的な工夫の一つです。